

## 第0章の補遺4 述語の逆と裏

述語  $A$  と述語  $B$  とからできる述語 “ $A$  ならば  $B$ ” に対して、

述語 “ $B$  ならば  $A$ ” を逆といい、

述語 “ $A$  でないならば、 $B$  でない” を裏といいます。

述語  $A$  と述語  $B$  とからできる述語 “ $A$  ならば  $B$ ” が真であっても、その逆の述語 “ $B$  ならば  $A$ ” 及びその裏の述語 “ $A$  でないならば、 $B$  でない” は真であるとは限りません。

**例** 述語

“高専生であるならば中学校を卒業している”

は常に（誰であっても）本当です。しかし、その逆の述語

“中学校を卒業しているならば高専生である”

及びその裏の述語

“高専生でないならば中学校を卒業していない”

は常に（誰であっても）本当であるとは限りません。

**終**